

# 第86回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、平成29年度JSPS科研費 26284010助成「Multi Disciplinary Approachによる新出土資料の総合的研究」（基盤研究（B））「出土資料と漢字文化研究会」との共催です。

## 清華簡『鄭武夫人規孺子』を読む

発表者 小寺敦准教授(東京大学)

第86回目を迎えた今回の研究会は、小寺敦准教授（東京大学）が担当し、最新の情報を盛り込んだ発表をいたします。

つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記の要領で開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

【小寺敦准教授発表要旨】

清華簡『鄭武夫人規孺子』は、清華大学出土文献研究与保護中心編 李学勤主編『清華大学蔵戦国竹簡』（陸）（中西書局、上海、2016年4月）に収められています。本篇は竹簡18枚からなり、竹簡は長さ約45cm、幅0.6cm、編縄3本で、篇題はありません。そこでは春秋時代初期、鄭の武公の死後、夫人の鄭武夫人らが後継者の莊公を訓戒する様子が描かれています。その内容は伝世文献に見られないもので、先秦時代の重要資料とみなされています。本報告では本篇を丁寧に読み込みながら、その資料的性格を検討いたします。

日時：2017年9月30日（土）午後2時～午後5時

場所：日本女子大学目白キャンパス百年館8階815会議室

- 使用言語 日本語
- 『清華大学蔵戦国竹簡』（陸）の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。
- 参加費 無料
- 研究会終了後に懇親会を催します。

連絡先：東京都練馬区中村南1-12-5

東京大学名誉教授 池田知久 電話：03-3926-8568